

**平成 29 年度 観光経営を学ぶ高等教育の推進事業**  
**「京都観光経営学講座」受講者出願要項**

「観光立国・日本 京都拠点」として、観光立国・日本に資する担い手を京都から輩出するとともに、京都観光の発展に必要な担い手の育成を図るため、京都大学をはじめとする学識経験者や実務経験者などを講師に迎え、海外からの誘客を視野に入れた観光業界における戦略的経営の動機付けや論理・理論に関するセミナーを、京都大学と京都市の共同で実施します。

**1. 募集人数**

30 名程度

**2. 出願資格**

- ①京都市および近隣地域に在住または通勤し、かつ観光関連団体・企業に現在勤務している、または将来的に勤務を希望している者。
  - ②その他観光経営について学ぶ意欲を有し、①に準じると京都大学「京都観光経営学講座」事務局（以下「事務局」という。）が認める者。
- ①の方を基本としておりますが、場合により①に属さない②の方の受講も受け入れる場合がありますので、②に該当する方で受講を希望される方は個別にお問い合わせください。

**3. 出願手続**

**(1) 募集要項等の請求**

募集要項及び出願書類の書式はインターネット、事務局、京都市役所案内所、各区役所・支所、京都市産業観光局観光 MICE 推進室にて入手できます。

インターネットの場合は、ウェブ (<http://www.coc.kyoto-u.ac.jp/tourism/>) からダウンロードし、各自で印刷した用紙 (A4 片面) を出願書類として使用してください。

**(2) 出願書類**

受講希望票:ウェブより所定の用紙をダウンロードし記入、1 通(全 3 ページ)。

**(3) 出願書類の提出方法**

出願者は (2) の出願書類を次の出願期間にメール添付 (推奨) または「書留郵便」等、追跡可能な方法で郵送にて提出してください。

**① 出願期間**

平成 29 年 8 月 1 日 (火) から 8 月 31 日 (木) 午後 5 時まで (必着)

## ②出願書類等の提出先

メール（推奨）：[info@coc.kyoto-u.ac.jp](mailto:info@coc.kyoto-u.ac.jp)

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院教育学研究科内  
地域連携教育研究推進ユニット 京都観光経営学講座事務局

## ③出願期間早期終了の可能性

出願者が募集人員の2倍を超えた場合、ウェブサイト (<http://www.coc.kyoto-u.ac.jp/tourism/>) で予告の上、募集を終了することがありますので、ご注意ください。

## 4. 選考方法

### (1) 選考方法

選考は書類審査にて実施します。選考の基準として、特に「受講希望票」に記載する「志望動機・学習目的」および「演習科目（ゼミ）で取り組みたいテーマ」を重視します。

### (2) 選考の優先条件

本事業は、京都市との連携事業であり、次代の京都観光を担う経営者層の育成を目的としていることから、出願資格①（京都市または近隣地域に在住または通勤し、かつ観光関連団体・企業に現在勤務している又は勤務しようとしている者）に該当する方を優先することがあります。また、事業の性格から、若い世代を優先することがあります。

## 5. 受講者発表

平成29年9月12日（火）以降

志願者全員へ「受講希望票」に記載された連絡先へ合否通知をお送りします。

## 6. 受講手続等

### (1) 受講料

全期間を通じて 60,000 円

### (2) その他手続

詳細は受講者発表の際にあわせて連絡をいたします。受講料は受講決定後、受講発表時に指定された方法で速やかに納入をお願いいたします。受講料を指定期日までに一括納入しない場合には、受講取り消しとなります。

## 7. 履修について

### (1) 履修科目の概要

- ① 開講特別講義（10月5日に実施、90分×2コマ/日×1日）
- ② 学内講義（経営戦略、マーケティング、ホスピタリティ等）  
（10月～2月にかけて実施、90分×2コマ/日×15日）
- ③ 演習（ゼミ）（11月～2月にかけて適宜実施、各受講者又はグループでテーマを設定し研究を行い、結果をレポートにまとめる）
- ④ ビデオ講義※（ツーリズム産業論）（10月から随時受講可能、90分×8コマ程度）
- ⑤ 学外講義（サービス産業事例分析、サービス経営論）※選択制  
（10月から12月にかけて週1回程度実施、70分×2コマ/日×6日程度）  
※ビデオ講義についてはインターネットを利用して配信を行いますので、自宅もしくは職場等でインターネットを使える技能と環境があることが必要となります。

### (2) 受講期間

- ① 受講期間は約6か月（平成29年10月5日～平成30年3月31日）とします。
- ② 各講義の詳細な日程・受講方法は改めてウェブサイト  
（<http://www.coc.kyoto-u.ac.jp/tourism/>）にて掲示いたします。
- ③ 学外講義については、10月4日（水）～12月20日（水）の毎週水曜日の18時～21時にキャンパスプラザ京都内で行われる講義に合流をする形で実施します。本講座では、この学外講義のうち各受講者が希望する講義を選択し15コマ（2コマ/日×6日）程度受講することを推奨しています。

### (3) 履修証明書の交付

本講座受講修了者は、京都大学学際融合教育研究推進センター発行の「京都観光経営学講座履修証明書」が交付されます。

### (4) 修了条件について

履修証明書の交付については、以下の2点をその条件とします。

- ① 当講座が提供する講義等について60コマ相当の学修（※）をしたと認められるもの。
  - ② ゼミを通じて自身が研究した内容をまとめたレポートの提出。
- ※「60コマ相当の学修」の基準として、講義等への出席回数を基本としますが、場合により、課題の提出等の代替措置を認めることもあります。

## 8. 個人情報の取り扱いについて

- ①個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び「京都大学における個人情報の保護に関する規程」に基づいて取り扱います。
- ②出願に当たってお知らせいただいた氏名、住所及びその他の個人情報については、受講者選抜（出願処理、選抜実施）、合格発表、受講手続業務を行うために利用します。
- ③出願に当たってお知らせいただいた個人情報は、受講者のみ、教務関係（学籍、就学指導等）、受講料徴収に関する業務を行うために利用します。
- ④出願書類は、返却いたしません。受講者決定後、こちらでシュレッダーにて廃棄いたします。

## 9. 付記

- ①納入された受講料はいかなる場合も払い戻しはしません。また、所定の期日までに納入しない場合は、受講を許可しません（納付期日は、受講通知の際に通知します）。
- ②本プログラムは、「2017年度 観光経営を学ぶ高等教育の推進事業」の一環として活用し、京都市と共同で実施するプログラムです。
- ③本講座の受講生は、京都大学の本科学生、研究生、科目等履修生にはあたりません。したがって、本講座を受講しても本大学の単位を取得できるものではありません。
- ④いかなる理由があっても、受講期間の延長はできません。
- ⑤コンプライアンスの観点から、受講者およびその出願者に関しては、所属している企業、団体その他役員もしくは従業員（その企業・団体の業務に従事する者を含む）が、反社会的な勢力（暴力団、暴力団員・準構成員、暴力団関係企業、特殊知能暴力集団等その他これらに準じる者）に該当しないこと及びこれらの者と密接な関わりを有していないことを条件とします。また、受講中にそれらへの関与が明らかになった場合には、受講を中止してもらうことがあります。
- ⑥その他ご不明な点がありましたら下記へお問い合わせください。

京都大学 学際融合教育研究推進センター 地域連携教育研究推進ユニット

「京都観光経営学講座」事務局

〒606-8501 京都市左京区吉田本町 京都大学大学院教育学研究科内

電話：075-753-3014

（月～金 10：00～17：00）

メール：[info@coc.kyoto-u.ac.jp](mailto:info@coc.kyoto-u.ac.jp)

（メールは随時対応可能です。電話番号をお知らせいただければ、上記電話対応時

間外でも折り返しお電話することも可能です。)

ホームページ：<http://www.coc.kyoto-u.ac.jp/tourism/>

○平成 29 年度学内講義スケジュール (変更の可能性あります)

日程	講義テーマ	講師	備考	
10/5(火)	京都市の観光施策	門川 大作 (京都市長)	基礎編	
	観光立国の実現に向けて	(国土交通省観光庁)		
10/11(火)	観光/サービスの経営論 基礎編	前川 佳一 (京都大学経営管理大学院 准教授)		
10/17(火)	演習概説 (演習に関する初回説明会)	前川 佳一 (京都大学経営管理大学院 准教授)		
10/24(火)	持続可能な京都観光	福原 和弥 (京都市産業観光局観光 MICE 推進室)		
	インバウンド・MICE プロモーション	赤星 周平 (公益財団法人京都文化交流コンベンションビューロー)		
10/31(火)	サービスマーケティングを見直そう	若林 靖永 (京都大学経営管理大学院 教授)		
11/7(火)	知っておきたい会計の基礎知識	茨木 純一 (株式会社 CVC コンサルティング)		
11/16(木)	オリジナルデータをつくろう!	矢ヶ崎 紀子 (東洋大学国際地域学部 准教授)		
11/21(火)	観光経営の人材育成	テイラー 雅子 (大阪学院大学経営学部 教授)		
11/28(火)	旅行消費者の経験価値とは①	吉崎 夏来 (株式会社 HMRI)		
12/5(火)	演習 中間発表会			
1/9(火)	ビジネスモデルを組み立てよう	若林 靖永 (京都大学経営管理大学院 教授)		
1/16(火)	旅行消費者の経験価値とは②	吉崎 夏来 (株式会社 HMRI)		応用編
1/23(火)	観光経済の基礎知識	矢ヶ崎 紀子 (東洋大学国際地域学部 准教授)		
1/30(火)	観光事業経営者のための会計	茨木 純一 (株式会社 CVC コンサルティング)		
2/6(火)	演習日	予備日		
2/13(火)	観光/サービスの経営論	前川 佳一 (京都大学経営管理大学院 准教授)		
2/20(火)	観光心理学: もてなしのエキスパートになるために	楠見 孝 (京都大学大学院教育学研究科 教授)		
2/27(火)	投資対象としての宿泊施設	池尾 建 (フォートレス・インベストメント・グループ合同会社 前ディレクター)		

【参考】

昨年度の京都観光経営学講座の実施内容については、以下でご参照ください。

<http://www.coc.kyoto-u.ac.jp/tourism/>

○平成 28 年度学外講義企業（一部）

基調講演企業事例	
スカイマーク株式会社	がんこフードサービス株式会社
京阪ホールディングス株式会社	VCUBE 株式会社
ロイヤルホールディングス株式会社	柊屋旅館
株式会社サイバーエージェント	アビームコンサルティング株式会社
オリックス水族館株式会社	ヤマト運輸株式会社
株式会社キタムラ	ウオンテッドリー株式会社
株式会社フランチャイズアドバンテージ	株式会社アニコム

※学外講義企業については、あくまで昨年度のものであり、今年度も同企業の講義を保障するものではありません。